

6-7 宇治-潮岬のGPS観測結果(1993年)

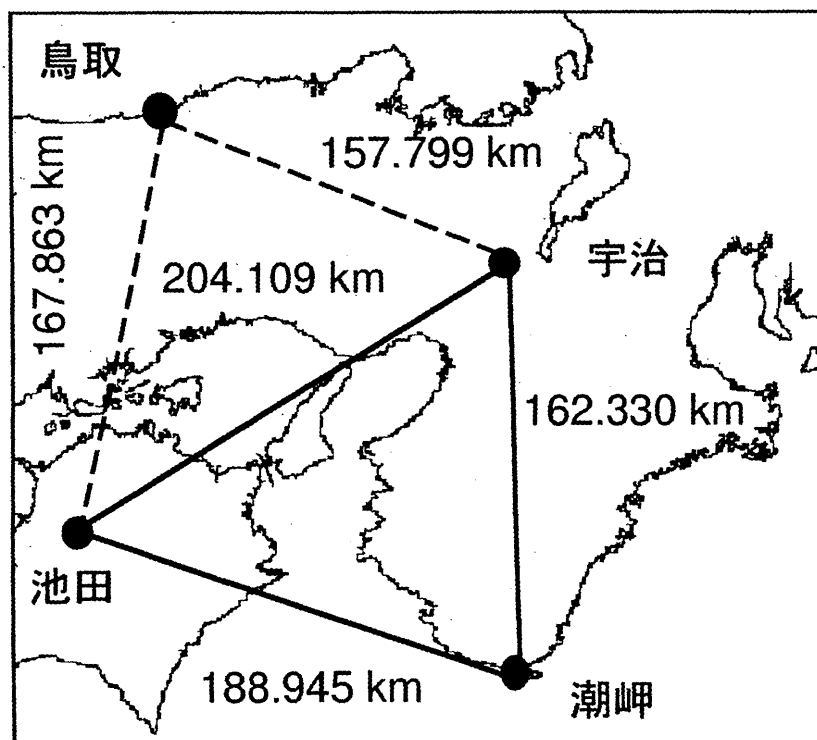
GPS Observation of Uji-Shionomisaki Baseline (1993)

京都大学防災研究所地震予知研究センター

Research Center for Earthquake Prediction

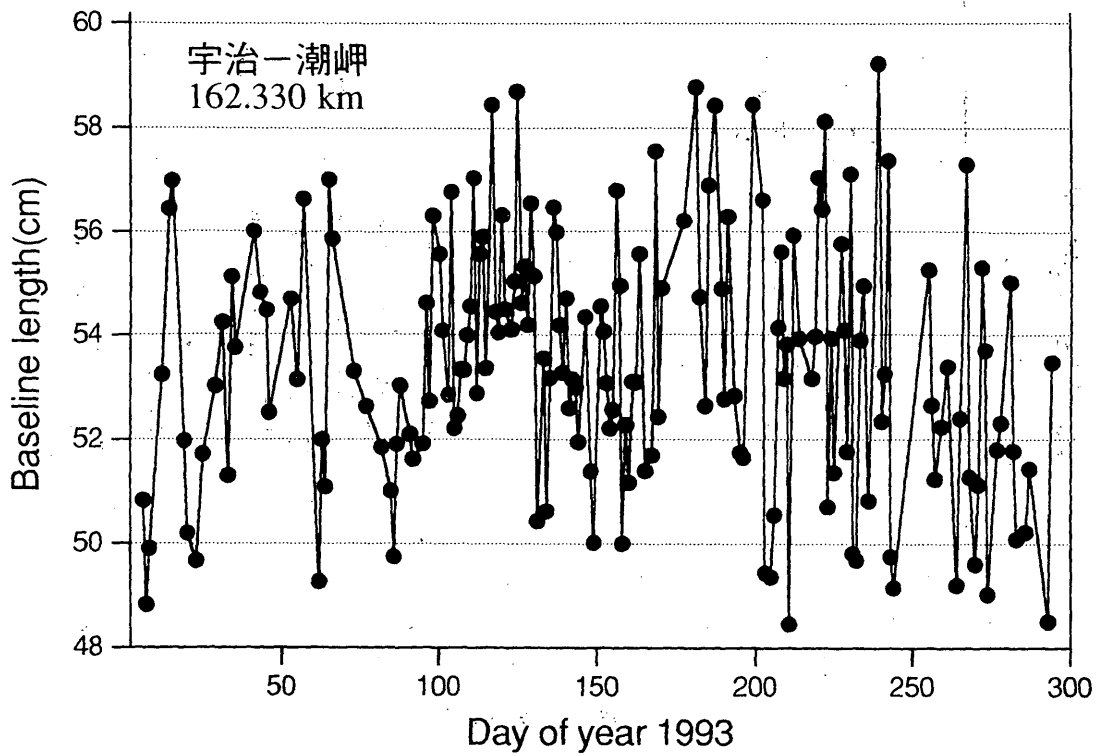
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

京都大学防災研究所地震予知研究センターでは、GPS受信機MINI-MAC2816を用いて1991年から宇治、潮岬、池田の3観測点ではほぼ連日観測を行ってきたが、池田は一時中断していた。近畿地方の地殻変動を詳細に調査するため、1993年に池田で観測を再開し、鳥取に新たに観測点を設けた。今回は宇治-潮岬基線に加えて、宇治-池田、宇治-鳥取基線の結果も報告するが、池田、鳥取については観測データが少ないので、まだ予備的なものと考えられる。宇治-潮岬基線については、前回までの報告にあるように、年間1~2cm程度の縮みの傾向が認められている。今回の宇治-潮岬基線では、経年変化のようなものが見られた。しかしながら、この経年変化は実際の地殻変動の反映ではなく、放送暦を使用しているためや、水蒸気補正を行っていないために生じた見かけ上のものである可能性が高い。精密暦を使用し、水蒸気補正を行えば、より詳細な真の地殻変動を議論できるものと期待される。



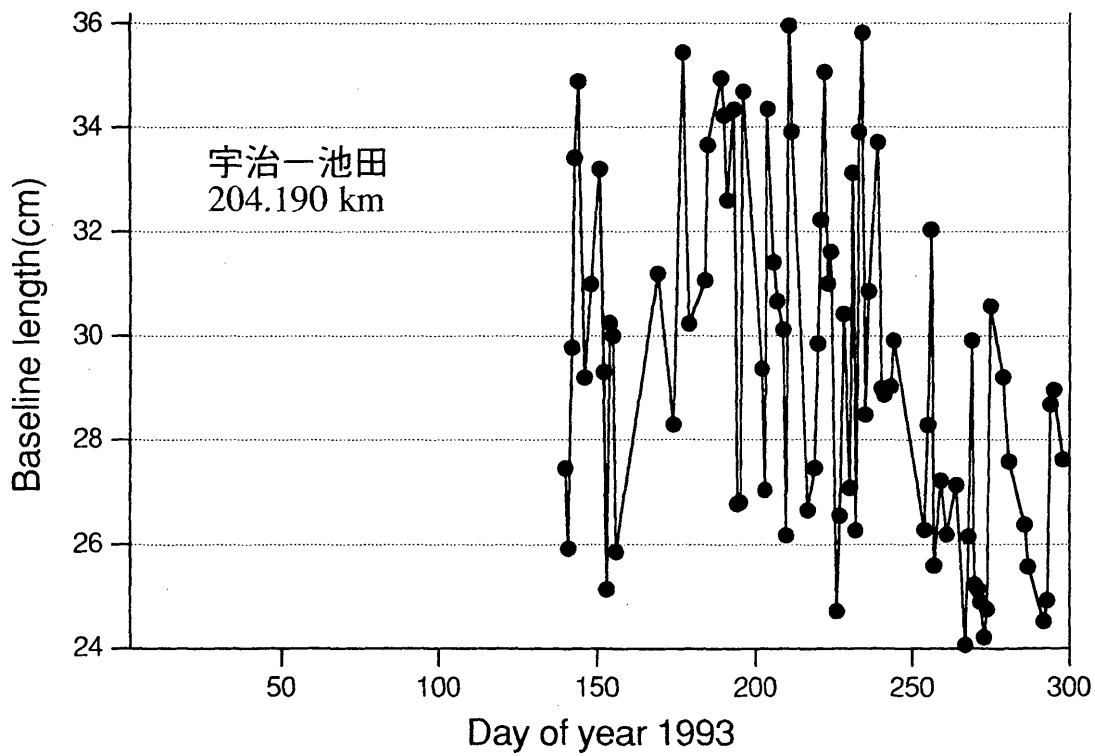
第1図 GPS観測点配置図

Fig.1 Location map of GPS stations (Uji, Shionomisaki, Ikeda, Tottori).



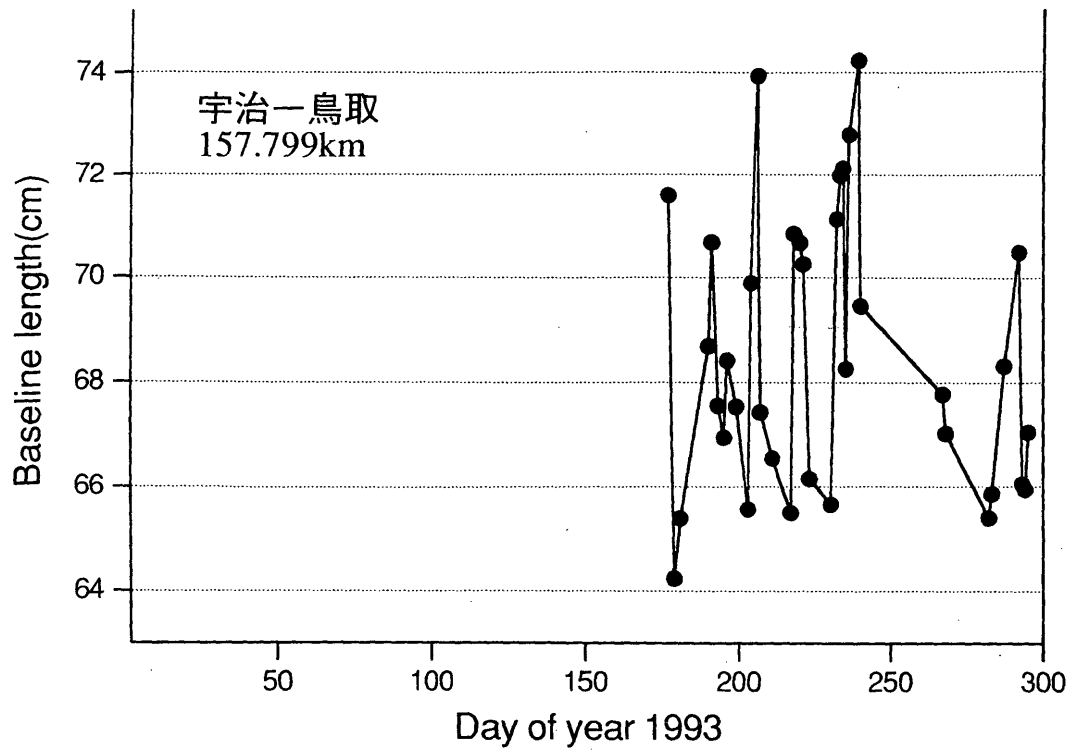
第2図 1993年における宇治-潮岬基線の基線長変化

Fig.2 Lengths for Uji-Shionomisaki baseline in 1993.



第3図 1993年における宇治-池田基線の基線長変化

Fig.3 Lengths for Uji-Ikeda baseline in 1993.



第4図 1993年における宇治-鳥取基線の基線長変化

Fig.4 Lengths for Uji-Tottori baseline in 1993.